私たちにできる環境問題対策

今年の正月はいろいろと環境問題について考えさせられることが多かった。
地球の温暖化→その対策としてのバイオエタノール燃料製造→その確保のためにトウモロコシの消費が増える→その市場を狙って熱帯雨林を伐採してトウモロコシ畑を作る→その結果として二酸化炭素を吸収する熱帯雨林が減る→すると地球上の二酸化炭素の量が増える→そしてまた地球が温暖化する・・・この悪循環が様々な環境問題を引起している。北極海の氷の溶解、生態系の変化、物価の高騰などなど枚挙に暇がない。
それぞれの TV 番組で解説者が一様に語っていたのは、私たちにできる身近な所から環境問題に取り組んでいく必要があること、日本の技術をもって世界の環境問題対策に貢献することであった。それも私たちのためだけではなく、次世代の人々に負の遺産を残さないためにも今私たちはできることから行動を起こさなくてはならないと感じた。
では、私たちがコイ釣りをしているなかでこれらのことに少しでも貢献できることがあるのか考えてみた。

１． 夜間釣行時の車のアイドリング OFF：寒ければ車のヒーターをかけるのではなくシュラフや毛布などで体を保温する。
２． コーンや押麦などの穀物系のエサを主体に使用する釣法から、コメヌカやフスマ、ダイズ絞り粕、油粕、酒粕、サナギのような産業廃棄物や肥料にしか活用できない素材をエサにしても釣れる釣法の開発
３． 燃料節約のため、水で練って、ボイルせずに日干し乾燥するだけで使用可能なボイリー(Boily)ならぬドライー(仮称：Dryie)の試作
４． 発泡スチロールではなく、トウモロコシのキビガラ粉を混ぜた環境にやさしいポップアップボイリーの試作
５． 大量生産・大量消費を抑える観点から、リールのミチイトを 100m 以上の芯に近い部分は、ほとんど傷んでいないことから新しいミチイト 100m と接続しても不安なく再用できる方法の検討およびミチイトの巻き癖解消方法の検討

などなど多くのアイデアがあると思う。
会員の皆さんからのアイデアを紹介してください。
できることから地球の温暖化防止に協力していきましょう。

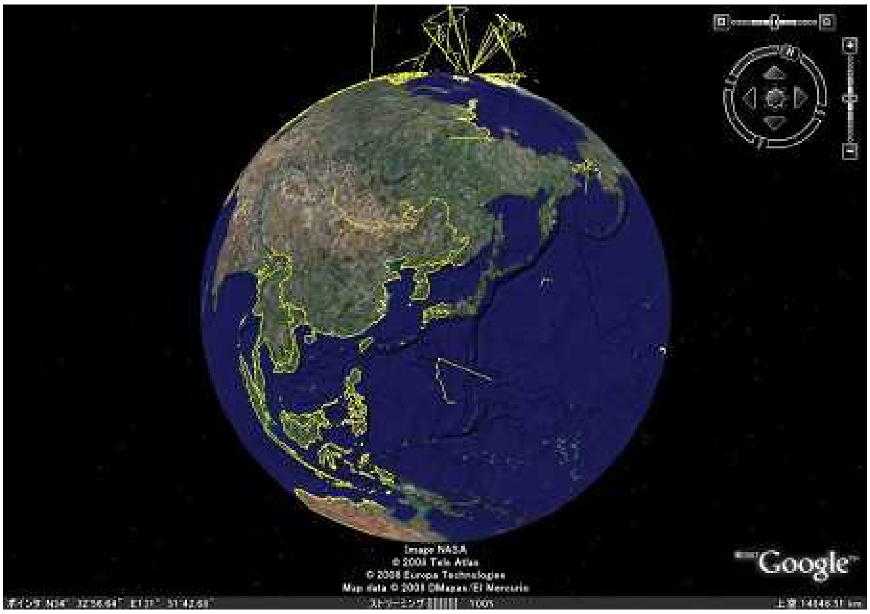
Image NASA
© 2008 Tele Atlas
© 2008 Europa Technologies
Map data © 2008 ©Mapas/El Mercurio
Google